

東区社協 ふくしだより

2011 (平成23年).10
No.87

〈編集・発行・問い合わせ〉

社会福祉法人 広島市東区社会福祉協議会/広報委員会
〒732-8510 広島市東区東蟹屋町9-34 東区総合福祉センター4階

TEL (082) 263-8443 FAX (082) 264-9254

E-mail: hlgashi@shakyohiroshima-city.or.jp

http://www.shakyo-hiroshima.jp/hlgashi/

賛助会員を募集しています!

社会福祉法人広島市東区社会福祉協議会では、「あなたとつくる みんなでつくる ささえあいのまち」をスローガンに、誰もがいきいきと安心して共に暮らせる「福祉のまちづくり」を目指して、地域の方々の自主的な地域福祉活動や障害(児)者やご家族が主体となった福祉活動等の支援を行っています。

こうした活動の財源は、区民の皆さまのご厚志によるものです。

この趣旨にご理解とご賛同をいただき、賛助会員としてご加入いただきたく、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

個人会員	団体会員(法人外)	団体会員(法人)
—□ 1,000円	—□ 3,000円	—□ 10,000円

郵便振替口座 01380-6-77585	社会福祉法人 広島市東区社会福祉協議会
-------------------------	---------------------

■申し込み・問い合わせ先: 社会福祉法人 広島市東区社会福祉協議会 TEL (082) 263-8443

ご入会いただいた皆さまを、6ページで紹介させていただいております。



地域の福祉、みんなで参加

赤い羽根共同募金



共同募金運動が今年も10月1日からはじまります。

「幸せ」と「豊かさ」をわかちあえる福祉の充実のため
に、皆さまのご理解と一層のご協力をお願いいたします。

共同募金は、国や市町村ではなく、社会福祉法にもとづき、共同募金会という民間の団体によって、都道府県を単位として行われている募金です。そして、共同募金への寄付は、その都道府県内の民間社会福祉のために使われます。

広島県内は、社会福祉法人広島県共同募金会が主体となって行っています。

広島市共同募金会は、社会福祉法人広島県共同募金会の支会として、共同募金運動を推進しています。

広島市共同募金会事務局は広島市社会福祉協議会内に、区分会は各区社会福祉協議会内に設置されています。

運動期間
平成23年10月1日~12月31日

平成22年度
東区内募金総額 **10,153,273円**

平成23年度
東区社協配分総額 **5,644,000円**



成年後見制度 相談会のご案内

10月21日(金)10:00~16:00

東区総合福祉センター4階で
相談会が開かれます。

要予約

■定員 5名 相談時間1名につき45分程度
(相談員:弁護士)

■申し込み・問い合わせ: 広島市社会福祉協議会
TEL (082) 243-0051 FAX (082) 543-6326

※電話によるお問い合わせは平日のみ8:30から17:15

Eメール

riyo-enjo@shakyohiroshima-city.or.jp

※11月22日(火)安芸区総合福祉センターでは
『成年後見制度講演会』も行われます。(申し込みは上記)

[成年後見とは]

認知症や知的障害、精神障害で判断能力が十分でない方が、財産管理や日常生活での契約などを行うときに不利益をこうむることのないよう、権利と財産を守り支援する制度です。

ちやいちやいりパー

東区障害児者グループ連絡会は、障がいのある方々、家族、ボランティアなどで構成される障がい児者自主グループと作業所の輪を広げ、情報交換できる場となることを目的として開催されています。

【編集・発行】東区障害児者グループ連絡会
【お問い合わせ先】東区社会福祉協議会
東区東蟹屋町9-34 東区総合福祉センター内4階
TEL:(082)263-8443 FAX:(082)264-9254

母さんのつづやき

「地域で障がい者が生きるために」

つくしんぼの会 代表 和田 裕子



『つくしんぼの会』は、娘が養護学校小学部に入学した翌年に発足しました。戸坂公民館を利用して、母親数人による手作りの障がい児自主保育でした。以来35年の月日が流れ、

念願の『つくしんぼ作業所』も立ち上げ、来年で10年を迎えます。親たちのたゆまない努力と、子どもに対する深い愛情が、強くたくましい人間にならざるを得なかったのか、『つくしんぼの会』の親たちは、元気に今も活動をしています。

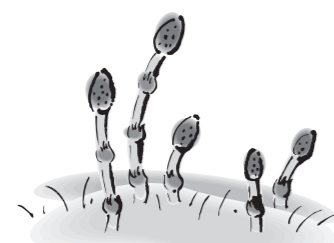
「寄る年波には勝てないね～」と言いながらも、いざとなるときできることをできるだけ、それぞれの力を発揮し、手際よくやっています。長年積み上げた経験と行動力が、体にしみついているかのようで、気持ちよく活動に参加して下さる親がおられたからこそ、今日まで継続できたのだと思っています。

青年期を迎えた仲間から、中年期になった我が娘も含めて、年齢差のある障がい者がいる『つくしんぼの会』。親も70代に入った人、老親の介護で忙しくなってきた人、自分自身の体調が悪くなってきた人など様々です。親の加齢にとまらぬ、子どもの将来の不安や、家族の悩みが大きく、重くのしかかってくるのも厳然たる事実です。しかし、長く続けてきた会への参加は、心の支えであり、クッキーを作りながらストレスを発散する場にもなっています。

息苦しい日本の現状の中で、お互いが支え合うことは生きる力になります。『つくしんぼ作業所』に通う子どもたちが、地域で安心して暮らせるための展望はなかなか実現しません。しかも、障害者自立支援法は来年どんな新法に生まれ変わるのかよく分かりません。障がい者と親、ボランティアが地域に根ざした活動を続けることは、並大抵ではありませんでした。

今年の戸坂学区盆踊り大会の実行委員会で、つくしんぼの会の出店は32年目ですと言われ、「あーあ、そんなに長くやってきたんだ」とまるで他人事のような気さえしました。いつまでやれるのか予測できないけれど、世代交代をして願わくば続けたいと思います。

親が高齢化した今だからこそ、会の存続の必要性を感じています。そしてあまりにも少なくなったボランティア。地域で障がい者が生きていくためには、やはりボランティアの存在が不可欠なのです。



施設特集



No.9号では東区内の障がい児者自主グループを特集しましたが、今回は身体・知的・精神に障がいがある方々が、日々通っておられる施設をピックアップしました。作業所では、パンやお菓子などを作って販売したり、内職や生活訓練を行っています。デイサービスやサロンでは、大人から子どもまでみなさん思い思いの時間を過ごしています。

施設についてもっと知りたい、ボランティアをしたいという方は、各施設の連絡先、または東区社会福祉協議会にお問い合わせください。

施設名

- ①施設紹介
- ②イチオシ情報!
- ③住所・連絡先

PRひろば ~私たちの施設、こんなところですよ~

NPO法人 ふりーす ほーぷデイサービスセンター

- ①ほーぷでは、障がい児者を対象にデイサービスや居宅介護支援、生活支援事業などを行っています。
- ②ホームページをリニューアルしました☆
たくさん笑顔に会えるので、ぜひご覧ください!
- ③東区光町2-9-30
TEL:(082)567-6603
ホームページ
www.frees-hope.or.jp



社会福祉法人 はぐくみの里

- ①障がい者の就労を支援する「ワークプラザひがし(精神障害者就労支援施設)」と、心配ごとなどの相談を受けたり、ゆっくりのんびり過ごせる場所を提供する「ぬくもりのサロン(地域生活支援センター)」があります。
- ②パンやお菓子、お茶や昆布などの注文販売をしています。ぜひ一度お試しください!
- ③東区温品町字森垣内510-1
TEL:(082)289-6088

共同作業所 スマイル中山

- ①心に重荷を抱えても、地域で普通に暮らしていきたいという仲間が、食事作り・清掃などの生活訓練をしたり、内職をして日々頑張っています。
- ②時にはゲームなどをしながら楽しい時間を過ごしています。
- ③東区中山中町12-17
TEL:(082)280-5453



NPO法人 つくしんぼ作業所

- ①知的障がいの方々の作業所です。地域の中で仲間づくりをし、生きがいをもって頑張っている仲間が、パン・クッキー・ケーキ作り、内職、機織りなどの作業をしています。
- ②戸坂山崎町にお店があり、これらの製品の他にかわいい雑貨を置いています。ぜひ来てください!
- ③「つくしんぼ作業所」東区戸坂くるめ木2-12-15
TEL:(082)220-2330
「つくしんぼのお店」東区戸坂山崎町3-1
TEL:(082)220-5270



社会福祉法人 交響 きつつき第三作業所

- ①障がいのある方々が、毎日色々な作業をしたり、時にはレクリエーションを楽しむ中で、就労するための準備をしたり、生活リズムをつけたり、行き場にながら地域で安心して生き生きと暮らせるように取り組んでいます。
- ②秋に「ほのほのあけぼの市」という祭りを開催するので、ぜひご参加ください!イチオシ商品は国産大豆を使った大粒納豆の「まめでがんとす」です。
- ③東区曙2-3-23 TEL:(082)262-0855

社会福祉法人 交響 第一・第二きつつき共同作業所

- ①きつつき・うぐいす共同作業所は、知的・身体障がいのある方が、自宅から通ってきて、作業や活動をしています。
- ②作業所のお店「楽らく」では、そば、うどん、カレーに各種総菜と昼食にぴったりな軽食を用意しています。ぜひ一度お越しください!
- ③「第一・第二きつつき共同作業所」
東区戸坂南1-27-2
TEL:(082)229-7005
「うぐいす共同作業所」
東区戸坂南1-26-1
TEL:(082)229-2751
「楽らく」東区戸坂南1-13-21
TEL:(082)220-3120



職員さんのつづやき

「地域に根ざした施設を目指して」

社会福祉法人 はぐくみの里

『社会福祉法人はぐくみの里』は平成12年4月に設立しました。当時中山と戸坂にあった無認可作業所が統合して、今の温品へと移転しました。設立から現在に至るまで、地域の皆さまをはじめ、ボランティアの皆さまのご理解とご協力をいただき、少しずつではありますが地域とのつながりを広げてきました。

現在、はぐくみの里には、障がい者の就労を支援する『ワークプラザひがし』と、心配ごとなどの相談を受けたり、ゆっくりのんびり過ごすことのできるスペースを提供する『ぬくもりのサロン』の二つの施設があります。それぞれ活動は違うものの、共通して地域の方々との関わりを重視し、地域に開かれた施設を目指しています。

また、法人全体としても地域の皆さまを『はぐくみの里』の行事にお招きしたり、逆に地域のイベントへの参加も積極的にさせていただいています。たくさんの方々に関わりをもつことで、まずは、『はぐくみの里』の存在を知っていただき、さらにそこにいる利用者のごことや、彼らが抱える障がいについて少しでも理解してもらいたいという思いがあるからです。実際に行事にご参加いただいた方が、ボランティアとして活動していただくようになり、バザーに来て下さった方が、施設見学に来られたりと、徐々にではありますが、つながりが広がっております。

これからも、もっと地域の皆さまに気軽に寄っていただけるような、地域に根ざした施設を目指し、障がい者の理解と交流をすすめていきたいと思っております。



「歩み始めて30年、そしていま思うこと」

社会福祉法人 交響 第一・第二きつつき共同作業所

きつつき共同作業所は1981年に、当時養護学校にも行けなかった人たち7名と、家族、関係者のみんなの力を集めて開所しました。

1997年には、社会福祉法人交響を設立し、その後、日中活動の場として、きつつき、うぐいす、きつつき第三作業所を開所しています。暮しの場としては、ケアホーム5ヶ所、グループホーム1ヶ所を平均で2年に1ヶ所ペースで開所してきました。地域のお店として「楽らく」も開店させました。現在の利用者は100名を超え、ホームではその内約1/3の方の生活を支えています。

日中活動の場では、お菓子、パン、ふきんなど10種以上の作業を行っています。暮しの場では、入居者一人ひとりが、当たり前の暮らしができるように支えています。

歩み始めてから30年が経ちましたが、日中活動の場では、毎年定員を超えて受け入れる状況が続いています。また暮しの場でも、高齢化への対応や、生活面での様々な変化から、ケアホームや居宅での支援の要望が強くなってきています。

今後、これらの課題を解決するためには、障がいのある方一人ひとりの課題を、地域の課題としてとらえ、他の施設や事業所、相談機関との連携も含めて、地域の共通の認識としてネットワークができることを望んでいます。



▲無認可時代の作業所



▲法人設立時の作業所



▲女性用のケアホーム(尾長東)



▲男性用のケアホーム(中山新町)

ボランティアの広場

申し込み・問い合わせ

社会福祉法人 広島市東区社会福祉協議会/
東区ボランティアセンター
〒732-8510 広島市東区東蟹屋町9-34
東区総合福祉センター内(4階)
TEL:(082)263-8443 FAX:(082)264-9254

ボランティア活動ステップアップ講座

「ボランティアに役立つコミュニケーション」

～上手に話を聴くコツは!～

- 日時:11月28日(月) 10:00～12:00
- 会場:東区総合福祉センター 3階 大会議室
- 講師:クリエイティブコミュニケーション
代表 大下 貴子 氏
- 内容:上手に話を受け止めるには/人と上手につきあう心構え
- 対象:東区ボランティアグループ連絡会会員
または主に東区内でボランティア活動をされている方
- 定員:40名

精神障害者を支援する ボランティア養成講座

友だち、家族、知人…、私たちの周りには「こころの病気」を持ちながら地域で生活している方がたくさんいます。まずは、こころの病気を理解し、ボランティアで何ができるのか一緒に考えてみませんか。

日 時	項 目	内 容
① 11/11(金)	こころの病気の理解について	精神科医師のお話
② 11/18(金)	こころに病気を持つ人への関わり方	精神保健福祉士のお話
③ 11/21、22、24、25 (この間1回選択)	施設体験～施設利用者との交流～	東区内の社会復帰施設などの見学
④ 12/2(金)	まとめ、座談会 ボランティア活動について	講座の感想 今後のボランティアについて

- 時 間:①②④ 13:30～15:30/③体験先により異なります
- 会 場:東区総合福祉センター 4階 ボランティア研修室
- 対 象:精神障害者の支援活動に関心がある方
- 参加費:無料
- 定 員:30人(※事前申し込みが必要です)
- 共 催:東区保健福祉課 東区社会福祉協議会
- 備 考:「施設体験」の日程については、申し込み後に調整します

～東区子育て交流ひろば“ぽっぽひがし”～

子育て支援ボランティア養成講座



「東区子育て交流ひろば“ぽっぽひがし”」は、子育て中の乳幼児親子を対象に、平成19年夏に開設されました。たくさんの親子がお友だちやボランティアさんと楽しい時間を過ごしています。皆さんもボランティアとして子どもの笑顔に触れてみませんか。

日 時	内 容
12/7(水) 10:00～ 12:00	<ul style="list-style-type: none"> ●「今どきの子育て事情」 講師:比治山大学短期大学部幼児教育科 准教授 七木田 方美 氏 ●「ボランティア活動について」 講師:東区社会福祉協議会 ボランティアコーディネーター ●〈体験談〉 「ぽっぽひがしでのボランティアについて」 講師:ぽっぽひがしで活動中のボランティアさん ●座談会 「あなたにもできる子育て支援について」
12/14(水) 10:00～ 12:00	<ul style="list-style-type: none"> ●「子どもの事故予防について」 講師:東保健センター長 上田 久仁子 氏 ●〈実習・見学〉 「“ぽっぽひがし”でのボランティアについて」 講師:東区地域子育て支援センター職員

- 対 象:子育て支援ボランティア活動に関心のある方
- 参加費:無料(事前申し込みが必要です)
- 会 場:東区総合福祉センター 3階 大会議室1
- ぽっぽひがし
ボランティア活動日** 日～木曜日 9:30～15:15
(※ぽっぽひがし開設時間10:00～15:00)

ボランティア募集・講座・イベント情報などの新着情報はホームページをご覧ください。
アドレス <http://www.shakyo-hiroshima.jp/higashi/>

この広報誌は赤い羽根共同募金の 配分金により作成しました。

● 広島女学院大学ボランティアセンター ●

ボランティア活動レポート

平成23年4月、広島女学院大学にボランティアセンター（以下、センター）が設立されました。女学院大学はボランティアへの関心度が高い学生が多いというアンケート結果がある一方、時代の流れとともに学生が多忙になり、一人の活動頻度は高くても、それが広がらず、ボランティア数は減少傾向にありました。この状況を改善するとともに、ボランティアを通じて学生が社会貢献できる場を提供し、そこで社会性を身につけてほしいという思いから、学内にセンターが設立されました。

約270名がボランティア登録され、ほぼ毎日学生がセンターを利用されています。ここにはコミュニケーションセンター的な役割もあり、担当職員だけでなく、学生同士がボランティアの紹介をしたり勧誘をする姿もよく見られるそうです。一人で参加される学生も多く、学年、学部を超え、ボランティアに参加することで、学生同士が教え、助け合い、その輪はどんどん広がっています。時には、幼児教育心理学科、英米言語文化学科などの専攻科目を活かした活動ができ、実践の場にもなっているようです。

フラワーフェスティバルでの「折り鶴広場」は、企画、運営までを学生主体で行い、大学発信のボランティアとして徐々に浸透し、さらに「折り鶴みこし作り」などの活動へも広がっています。新入生にも積極的に参加を呼び掛け、折り鶴広場でのボランティアを機に先輩、先生との交流、友だち作りができ、学校に慣れる場にもなっているようです。

最初の企画段階から学生が参加し、意見を出しながら作り上げていけるようなボランティアへの参加に力を入れており、企

画に関わる中で、必然的に外部の人たちと交流する機会も増え、学生から提案、発表したり、色々な年代の方と会話する内に自然に社交性も身に付き、学内ではできない経験もできるそうです。

活動後に感想、気づきなどを記入する振り返りのための「ひとことカード」や、活動中の疑問や改善点をセンターに提案するなど、意見を言いやすい環境作りもされており、学生の率直な意見に伝えていくことで、お互いの信頼関係ができていくようです。

学生自身の「ボランティアって楽しい!おもしろい!」という気持ちや、自然に「次もやりたい!」につながっています。学生たちが皆を引っ張れる存在に成長していく姿を職員さんも心強く感じておられました。

「学生に支えられ、教えられるセンターです」という馬場さんのお言葉のように、学生と力を合わせ、一緒に成長しながら活動の領域をさらに広がっていかれるセンターの今後の展開がとても楽しみです。

「学生に支えられ、教えられるセンターです」という馬場さんのお言葉のように、学生と力を合わせ、一緒に成長しながら活動の領域をさらに広がっていかれるセンターの今後の展開がとても楽しみです。



「東区 在宅介護者のつどい」

今年の“日帰りツアー ～リフレッシュの旅～”は、ホテル賀茂川荘です!! おいしいご飯を食べながら、日頃の思いを語りつつ、温泉でたまった疲れをあかと一緒に落としましょう!

参加者募集!

- 日 時:平成23年11月24日(木)10:00~15:00
- 行き先:ホテル賀茂川荘
- 集合場所:東区役所駐車場
- 参加対象:東区内で寝たきりや認知症の高齢者を在宅で介護されている方、また1年以内に介護を経験しておられた方
- 参加費:1,000円(昼食代として)
- 定員:先着27人
- 申し込み期間:11月1日(火)~11月17日(木)



～集まれ! 東区第1回 男性介護者交流会～

「男性介護者のつどい」のご案内

近年、男性介護者の数は全国で100万人を超え、介護者の3人に1人は男性が占めています。

東区では、男性介護者が日頃の悩みや疑問を話したり、仲間づくりのできるサロンの開催を予定しています。つどいに参加して“俺流の介護”を話してみませんか?

- 日 時:平成23年11月18日(金)13:30~15:30
- 会場:東区総合福祉センター4階 多目的室
- 内容:座談会「みんなの介護経験談」
アドバイザー:医療法人 好縁会 グループ 統括部長(認知症介護指導者) 田中功一 氏
- 参加費:無料
- 主催:東区健康長寿課、東区社会福祉協議会



申し込み・問い合わせ先:広島市保健センター (東区厚生部健康長寿課) TEL:(082)568-7729

賛助会員にご入会いただきありがとうございます

平成23年4月1日～平成23年9月22日の入金状況 530,000円 平成23年6月28日～平成23年9月22日現在(敬称略)

【個人】

福田地区	上恵木宏行 岡崎 貢 小川 清彦	枘井 啓子 桂 多恵子	松長 忠義 浜田 富子	矢賀地区	大田 正憲 田中 政博 田中 征 飯田 伸吾 大久保近晴 榎本 通隆 山本 茂満 大田 正喜	谷本 嘉昭 正田 修一 世羅 忠好 山田 正一 倉本さゆみ 川越 常幸 清水 英明 佐久間尚夫	増本 豪 飯田 進 空下 重昭 山本 和登 梶山 広三 山田 浩雄 谷川 昭
馬木地区	出本 元治 西岡 里枝	山本 京子 崎本久利代	川上 浩子 升川久美子	尾長地区	森平 茂章 山城 政之 隅田 正司 瀧山 章 岩木紀美枝 菅 雄生	新長 静夫 原田 幹太 佐々木啓子 松岡佐智子 大島 信明 山崎 峰生	久波 行正 桑野 恭彬 村川 博敏 石田三枝子 森田 幸次 竹本 博光
上温品地区	本谷 忠昭 田原 勝行	山中ク二子 黒木 茂年	桑原 りえ 黒木 康子	その他	松谷 幹雄 波多野 進 菊楽 肇	久保 雅之 本田 茂樹	上田久仁子 水川 裕章
温品地区	裕井 一政	裕井 富子					
牛田新町地区	古川平三郎 山西 保子 保田 紀昭 甲元 零子	笠原 重蔵 野村登美子 大佐古理壮 大滝 徹	森岡 俊子 平田 幸壮 磯崎 薫				
戸坂地区	東谷 浄子						

【団体(法人外)】 点訳サークルスターシックス 矢賀消防団分団

【団体(医 院)】 さくらクリニック 吉本脳神経外科内科医院 金谷医院 上田耳鼻科 いしがめ小児科
かごさき小児科医院 沖本眼科 山地内科医院 太田川病院 石田医院 松原クリニック
小沢医院 古江クリニック 広島第一病院 水入クリニック おかもと整形外科クリニック
高橋泌尿器科・皮ふ科クリニック 松野クリニック 津谷内科呼吸器科クリニック

皆さま方の温かい気持ちに感謝いたします

「東北関東大震災(東日本大震災)義援金募集」について、東区ふくしだよりNo.85(2011.4)でお知らせをお願いを致しました。

皆さま方のご協力により、総額90万円を超える義援金を広島市共同募金会東区分会、広島市支会、広島県共同募金会を通して中央共同募金会へ送りました。

東区にお住まいの方でも、振込み等で直接募金をしていただいた方の金額は含みませんので、さらに多くの方々のご協力を頂いていることと思えます。本当にありがとうございました。

ここで広島市共同募金会東区分会を通して募金していただいた状況をお知らせいたします。(8月31日現在)

皆さま方からの温かい気持ち	912,704円
(内訳)	
広島市共同募金会東区分会へ持参された気持ち	601,500円
広島市東区地域福祉センター設置募金箱への気持ち	45,923円
広島市温品福祉センター設置募金箱への気持ち	123,429円
広島市戸坂福祉センター設置募金箱への気持ち	38,681円
広島市中山福祉センター設置募金箱への気持ち	103,171円

社協の三つの事業について、馬木の状況を説明します。
「近隣ミニネットワーク」
 となり近所の見守り、助け合いには、まずお互いを知ることから始まると思います。お互いを知るには、まず挨拶です。馬木では5年前からあいさつ運動を、幟を立てたりして、推進しております。
 また3年前から、全町内会の班長さんに、班福祉委員になってもらい、班内の見守りが必要な人を知ってもらうことから、始めています。
「ふれあいいきいきサロン」
 馬木のサロンは社協主催の「すぎなの会」「すみれの会」などの他に、参加者の多いのはグラウンドゴルフです。複数の会場で毎日のようにあり、参加者が100名を超えます。みんないきいきとしています。福木公園という適当な公園があると、森林公園に無料のコースがあり、恵まれています。
「ボランティアバンク」
 社協のボランティアバンクは「こぶしの会」といいます。それ以外にも、馬木には、子育ての親を支援する「子育て応援隊」、街のごみを拾う「アララーの会」、馬木を花でかざる「ポニーフラワー」、障がい児を支援する「きらりの会」などいろいろボランティアの会があり、社協が支援しています。

